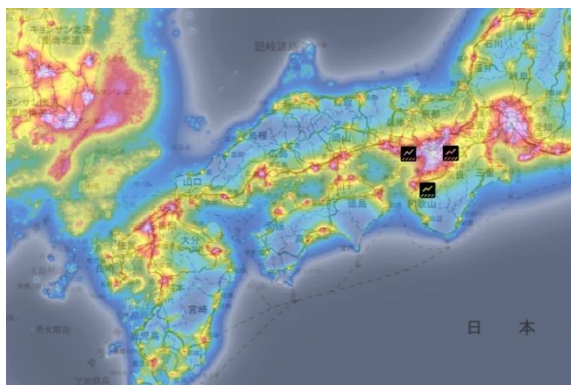


# 2026 年 天文バケットリスト

桑田 直宏

## 1. 日本一暗い夜空のところでコーワハイランダー双眼鏡を使って天体観望する



## 2. 千畳敷カールにコーワハイランダー双眼鏡を持ち込んで天体観望をする

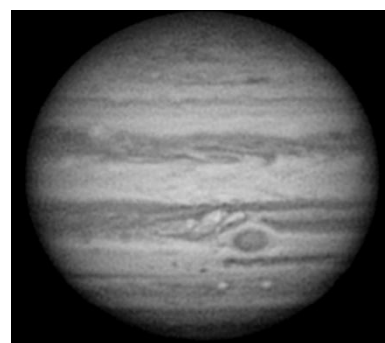
千畳敷カール 標高2600m 乗鞍畳平 標高2700m・  
高峰高原 標高2000m 美ヶ原高原 標高2000m

## 3. 最高のシーイングの日に 40 センチで月や惑星を観る

1月15日 0時50分 シーイング 8/10

ミード 40 cm 288 倍・404 倍

同じ日時に撮影された画像です(他人) →  
木星はほぼ天頂にあり、どんどんシーイングが良くなりました  
ずっと観ていると、右の画像程度の詳細な模様が確認できました  
大赤班の中の色の違いもわかりました。こんなのを見てしまうと  
大口径病に罹ってしまうのが理解できます

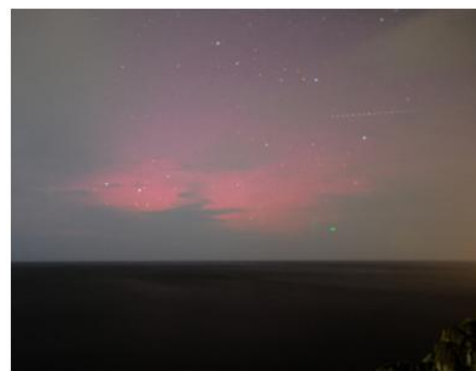
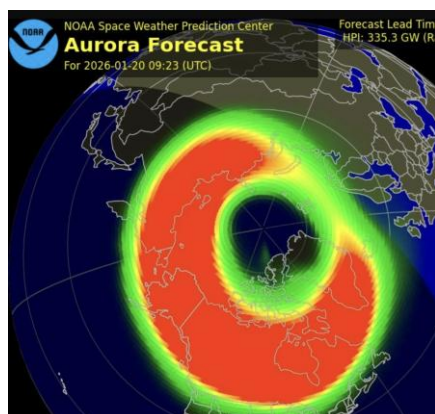


## 4. 姫路(上郡町)でオーロラを撮影する

2026 年も太陽活動の極大期続く。姫路でも見えた可能性は

2023 年 5 月 11 日(右下の記事参考)

この原稿を福原さんに送る日の前日に 1 月 19 日に太陽大フレアが  
発生しました。20 日夜に見えるかもしれません。



香美町で撮影されたオーロラとみられる現象=11日  
夜、兵庫県香美町観光商工課提供 (長時間露光)

## 5. 3 月 3 日に皆既日食(観望と撮影)